



2026 年 10 月 15 日

各 位

会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
(東証スタンダード・コード 3174)
代表者名 代表取締役社長 前原 聡
問合せ先 取締役管理本部長 丸山 誠
電話番号 03-3562-7525

特別損失の計上並びに通期連結・個別業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2026 年 8 月期第 4 四半期の決算において、下記のとおり固定資産の減損損失、社債償還損及び子会社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額を特別損失に計上いたしましたので、お知らせいたします。また、2026 年 8 月 18 日に公表いたしました 2026 年 8 月期通期連結・個別業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は、2026 年 8 月期連結決算において、今後の事業環境及び見通し等を踏まえ「固定資産の減損にかかる会計基準」等に基づいて将来の回収可能性を検討した結果、店舗の減損損失 56,606 千円を特別損失に計上いたしました。また新株予約権の権利行使に伴っての相殺契約に基づく社債の繰上げ償還により社債償還損 6,936 千円を特別損失に計上いたしました。さらに個別決算において、連結子会社である株式会社 No.（ナンバードット）への貸付金の回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額 71,600 千円を特別損失に計上いたしました。なお、当該貸倒引当金繰入額 71,600 千円は連結財務諸表において消去されるため、連結業績への影響はございません。

これにより通期連結決算における累計の特別損失は、店舗の減損損失 67,518 千円、社債償還損 13,416 千円等の合計 81,872 千円となりました。

2. 2026 年 8 月期 通期業績予想と実績との差異

(1) 2026 年 8 月期 連結 通期業績予想と実績との差異 (2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社 株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2026 年 8 月 18 日)	百万円 8,083	百万円 △268	百万円 △313	百万円 △385	円 銭 △98.82
実績 (B)	8,257	△244	△289	△406	△135.72
増減額 (B - A)	174	24	24	△21	—
増減率 (%)	2.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025 年 8 月期)	8,841	△404	△435	△808	△317.59

(2) 2026 年 8 月期 個別 通期業績予想と実績との差異 (2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2026 年 8 月 18 日)	百万円 7,607	百万円 △240	百万円 △277	百万円 △327	円 銭 △96.46
実績 (B)	7,757	△219	△254	△436	△145.54
増減額 (B - A)	150	21	23	△109	—
増減率 (%)	1.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025 年 8 月期)	8,408	△344	△366	△818	△321.28

(差異の理由)

(1) 連結

2026 年 8 月 18 日公表の予想と実績の差異につきましては、売上高が個別及び子会社 AbHeri において想定を上回る結果となったことにより、売上高・営業利益・経常利益が前回予想を上回る結果となりましたが、親会社に帰属する当期純利益につきましては、固定資産の減損損失及び社債償還損を特別損失に計上したことにより前回予想を下回る結果となりました。なお、前記のとおり個別決算における子会社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額は連結財務諸表において消去されるため、連結業績への影響は発生しておりません

(2) 個別

2026 年 8 月 18 日公表の予想と実績の差異につきましては、売上高は 8 月における販売が想定を上回る結果となりました。これにより営業利益、経常利益につきましても、予想を上回る結果となりました。当期純利益につきましては、上記 1. のとおり、固定資産の減損損失、社債償還損及び子会社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額を特別損失に計上したことから、前回予想を下回る結果となりました。

3. その他

2026 年 8 月期の決算概況等につきましては、本日公表の「2026 年 8 月期 決算短信[日本基準] (連結)」をご確認ください。

以 上